

おもろいことに挑戦

大林道路

大林道路は14日、東京都千代田区の本社で、第29回施工技術発表会を開いた。現場で工夫された施工技術の水平展開と職員のプレゼンテーション力向上を目的としており、入社5年目までの若手社員15人を含む約120人が全国から参加。「おもろいことにチャレンジ」をテーマに、新技術、特殊舗装、災害対策・復旧についての報告文17編を発表したほか、福本勝司社長が特別講演した。

冒頭、あいさつに立った福本社長は「当社が成長を続けるためには、既成概念にとらわれない自由な発想と、いろいろなことに疑問を持つて考えることが大切だ。疑問は技術開発や発明の基になる。日々現場で発生する疑問を見逃さず、納得するまで突き詰め、派生した技術テーマについて失敗を恐れずさまさまな「おもろいこと」にチャレンジしてほしい」と呼び掛けた。写真。



発表された報文は、全支店から寄せられた33編のうち、事前審査で上位となった17編。発表後には事前審査の得点に発表審査の得点を加算し、得点の高い順に金賞1編、銀賞2編、銅賞3編、プレゼンテーション力を評価した特別賞1編を表彰した。

